（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Yくまーず未来kazaoka津島2nd

公表日　R8.11.1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースが広く、子どもたちがのびのびと過ごせる環境になっています。また、用途に合わせて安全なパーテーションで空間を区切り、落ち着いて過ごせる場所を確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		スケジュールボードや写真カードなどを活用し、視覚的に分かりやすく情報を提示しています。個々の理解度や特性に応じた視覚支援も行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		スケジュールボードや写真カードなどを活用し、視覚的に分かりやすく情報を提示しています。個々の理解度や特性に応じた視覚支援も行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室を個別対応の部屋として活用し、必要に応じて落ち着いて話をしたり、個別支援を行える環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		リーダーに任せきりにせず、自分も積極的に関わり、一緒に取り組んでいきたいと考えています。安定して参画できるよう継続して取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価は現状実施しておりませんが、本部による内部監査を実施しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		子どもたちの特性や興味・関心に合わせた活動やリクエストも取り入れています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		曜日ごとに活動内容を統一することで、子どもたちにも分かりやすく、保護者の方も利用日を選びやすいと好評をいただいています。	すべての子どもたちが、さまざまな活動にバランスよく参加できるよう工夫していきたいと考えています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別・小集団・集団に分けて取り組みを行い、それぞれの活動の中でも、一人ひとりの特性や状況に合わせた配慮を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	必要に応じて振り返りや申し送りを行い、実施できなかった場合は翌朝のミーティングで共有しています。	今後は、支援職員が中心となって振り返りを行い、気づいた点や改善点を共有できるよう整えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			自立支援、遊びや体験活動、地域交流、子どもが主体的に参加できる活動を意識し、職員全員で取り組んでいきたいと考えています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		一人ひとりの発達や特性に応じた支援を行い、宿題や個別活動など、自分でスケジュールを考えたり、活動を選んだりする機会を設け、自己決定につなげています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		利用者様の状況に応じて、園や学校の先生、相談員、訪問看護等と情報共有を行い、連携しながら支援しています。	今後は、さらに連携を深められるよう取り組んでいきたいと考えています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		相談支援員の方を間に入れて担当者会議など情報共有に努めています。	今後は、さらに連携を深められるよう取り組んでいきたいと考えています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	7		地域の発達支援センター等の研修への参加や助言を通して、支援についての学びを深めています。	今後は、さらに連携を深められるよう取り組んでいきたいと考えています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	現状、児童クラブなどとの交流の機会は設けることができておりませんが、地域の公園で遊ぶ機会を設けたり、イベントには兄弟や友人も参加できるようにしています。	今後も地域の子どもたちとの交流の機会を増やせるよう、取り組んでいきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		可能な範囲で自立支援協議会にも参加しています。今後も地域の情報収集や関係機関との連携を深められるよう、努めていきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			相談や個別面談の際に、必要な情報提供や支援内容の説明を行っています。今後は、ご家族が学んだり情報を共有できる機会も設けていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			父母会や保護者会は現時点では開催しておりませんが、毎年数回、保護者同士が交流できる機会として季節のイベントを開催しています。今後も保護者同士の交流の機会を大切にしながら保護者会の開催についても検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	季節のイベントでは、ご兄弟の参加やボランティアの受け入れを行っています。	今後は、さらに地域の方も参加できるイベントを企画していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは玄関入口に設置しており、保護者や関係者の方がいつでも自由に閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎月、避難訓練等を実施し、職員・児童ともに災害時に落ち着いて行動できるよう取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの共有を通して再発防止に努めるとともに、月に1回「気づきシート」を活用し、職員間で気づいた点を共有しています。今後も安全に過ごせる事業所づくりに取り組んでいきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社外研修・全社研修・事業所内研修に参加しています。また、毎月チェックリストを実施し、各職員が自身の振り返りや意識づけを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			